

アトリエ移設記念展
「はじまりはここから—岡田三郎助と女性画家たち—」
開催要項

1 展覧会名称 アトリエ移設記念展「はじまりはここから—岡田三郎助と女性画家たち—」

2 会 期 平成30（2018）年4月1日（日）～5月20日（日）
休館日：なし 開館時間：9時30分～18時

3 会 場 佐賀県立美術館 2号展示室

4 趣 旨

本展は、東京渋谷区恵比寿に現存していた岡田三郎助のアトリエ、そして女子洋画研究所を佐賀市城内に移設し、ひろく県民の皆様にご公開するはこびとなったことを記念して開催するものです。

佐賀に生まれ、明治から昭和初期の洋画壇において重きをなした画家・岡田三郎助は、女子の洋画教育に力を入れた人物でした。「日本には、好き画かく婦人に欠けてあるには候はずや」—明治30年から4年にわたるフランス留学のなかで、師であるラファエル・コランのもとを訪れて絵を学ぶ女性の姿を目にしたことは、岡田が女性を対象とする洋画教育に目を向ける契機になりました。

岡田は大正5年から女子美術学校で教鞭を執り、多くの女性に洋画を教えました。また、明治40年頃から、女性のための洋画教育専門の教育所をつくりたいという希望を持つようになり、それは大正末頃に自宅のアトリエに隣接して女子洋画研究所を設けたことで実現に至りました。

これらの場所で岡田から絵の指導を受け、その後ひろく活躍を果たした女性画家として、有馬三斗枝、甲斐仁代、森田元子、深沢紅子、三岸節子、岡田節子、いわさきちひろなどの名を挙げる事が出来ます。彼女たちは、女性が洋画を描き、ましてやプロの画家になるということに対して周囲の理解を得辛い時代でありながら、岡田のもとで才能を伸ばし、画家として巣立っていきました。

本展では、岡田三郎助に師事した女性画家たちの作品とともに、岡田がアトリエで描いた作品と遺愛の支持な、また当時アトリエ内に飾られ、訪れる弟子達に感銘を与えていた岡田の作品等を展示します。さらに、アトリエに残されていた16ミリフィルムの映像上映や、岡田遺愛の品もご紹介します。

5 主 催 佐賀県立美術館、佐賀新聞社、サガテレビ

6 展示内容・点数（予定）

（１）師のあしあと—岡田三郎助の作品—

岡田がアトリエで描いた作品、また当時アトリエ内に飾られ、訪れる弟子達に感銘を与えていた岡田の作品等を展示。

その他、アトリエに残された岡田三郎助の愛用品等を展示。

（２）はじまりはここから—岡田三郎助に学んだ女性画家たち—

女子美術学校や女子洋画研究所で岡田から絵の指導を受け、のちに国内画壇で活躍を果たした女性画家たちの作品を展示。

岡田三郎助の日本画、油彩画約 10 点、及び遺品等関連資料 約 10 点
有馬三斗枝、甲斐仁代、森田元子、深沢紅子、三岸節子、岡田節子、
いわさきちひろの油彩画、水彩画等 約 30 点 （総計 約 60 点）

*また会期中、「岡田三郎助アトリエ」及び「OKADA-ROOM」（美術館 1F）においても本展と関連した展示を行います。

7 問い合わせ先

佐賀県立美術館 【担当】学芸課 美術系担当 主事・学芸員 野中耕介
〒840-0041 佐賀市城内1丁目15-23
TEL.0952-24-3947 FAX.0952-25-7006
Email:nonaka-kousuke@pref.saga.lg.jp